現場説明書(技術的事項)

工事名 引野町高屋市営住宅 14 号棟他隔測水道メーター改修工事

1. 現場の状況

本工事場所は、福山市引野町北四丁目地内です。

本工事は引野町高屋市営住宅の隔測水道メーターを計量法に基づき取替を行うものです。

2. 留意事項

- ① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- ② 本工事は建設リサイクル法に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに建設副産物情報交換システム(コブリス・プラス)の計画書・実施書を提出してください。
- ③ 現場代理人及び主任技術者については、契約約款・建設業法等に違反とならないよう適切に配置し、当該工事の施工管理を行ってください。
- ④ 工事期間中は住民及び第三者の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じ、 入居者の安全に務めるとともに、騒音等に対して十分な対策を講じてください。
- ⑤ 工事で既存工作物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。なお 損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧して ください。
- ⑥ 工程表は契約後14日以内に提出してください。その際、作業工程については監督員及び施設管理者と十分に協議調整の上、作成してください。また、施工計画書等は速やかに提出してください。
- ⑦ 工事の施工上、官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やか に行ってください。
- ⑧ 本工事において隔測水道メーター交換日については上下水道局関係課へ協議が 必要です、よって予め施工日の協議及び承諾を得てください。
- ⑨ 入居者と施設管理者との調整を行い、円滑な工事の遂行に努め、入居者には、着 手前に工事概要(工程表を含む)を文書で周知をはかってください。 なお、文面については、原案を作成後、監督員の承諾を得て、各戸に配布してく ださい。
- ⑩ 工事車両等の乗り入れ及び駐車位置は、施設管理者、監督員と必ず事前に協議してください。また、敷地周辺の道路交通規制を遵守し、工事を行ってください。
- Ⅲ 既設水道メーターは製造メーカーに引渡してください。

3. 関連工事

なし

引野町高屋市営住宅14号棟他隔測水道メーター改修工事

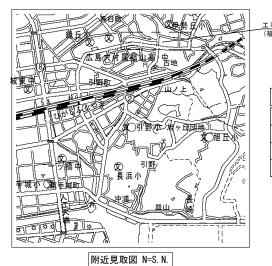
		図面リ	スト			
図番	図 面 名 称	縮尺	図番	図 面 名 称	縮	尺
W _1	機械設備工事特記仕様書No.1		/			
W ₂	附近見取図・配置図、平面図	N.S. , 1/100	/			
			/			
			/			
			/			
			/			
			/			
/			/			
/			/			

福山市建設局建築部設備課



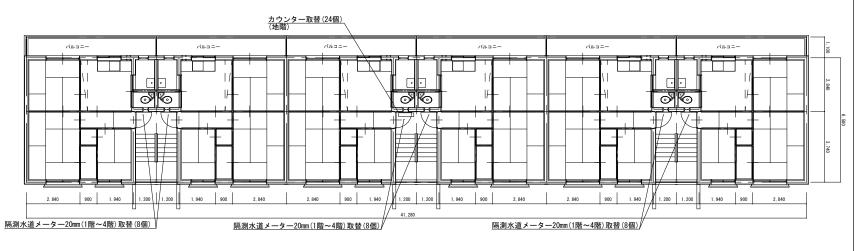


福山市機械設備工事特記仕様書	(3) 疑義に対する協議等		11	足場	建築工事等に伴う足場及び安全仮囲いは、無償にて使用できる。	34 化学物質の測定	・ 測定対象化学物質 ()・ 測定方法 ()
1曲 山 川 (成 1城 改 川 土 争 付 記 11 1球 音	設計図書に定められた内容に	疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難			・本工事で設置する。		・測定対象室 () ・測定箇所 ()
I 工事概要	若しくは不都合が生じた場合	は、監督員と協議する。			・ 内部足場 (・ 単管足場 ・ 枠組足場)	₫ 施工調査	事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
1 工事名称 引野町高屋市営住宅14号棟他隔測水道メーター改修工事	2 特記仕様				・ 外部足場 (・ 枠組足場 ・ 単管足場)	36 その他	工事着手に先立ち、設計図面 (A3版縮小) 製本を提出する。 部
	(1)項目は、番号に〇印のつい	たものを適用する。			※枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省		
2 工事場所 福山市引野町北四丁目地内	(2)特記事項は※および〇印の				平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体		
3 用途地域 第一種中高住居専用地域		う。(〇印のついたものを適用する。)			変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置		
3 加速地域 第一種中间に沿导用地域					女文の11米は、「ナック元11工法によると場の組立し寺に関する基準」の2の(2)ナック11日	▼ 1 工事現場仮囲い	
4 防火地域 ・準防火地域 ⊙ 指定なし	・引渡し後点検(第1次点検)				方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	2 受注者事務所等	- 敷地内に建てることができる。
	・引渡し後点検(第2次点検)	引渡しの概ね2年後	12	施工中の安全確保	・ 同一場所で契約書に基づく関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2	③ エ事用水	構内既存の施設 ・有償で利用できる ・無償で利用できる ◯ 利用できない
5 工事種別 · 新築 · 增築 · 改築 ① 改修					項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工		(割メーター設置等)
6 敷地面積					事現場代理人を指名する。	_ 4 エ事用電力	構内既存の施設 ・ 有償で利用できる ・ 無償で利用できる
V ZX 化 调 1限					・ 本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。交通誘導員の配置については、 -	- - 引流しまでの火熱	
7 建物概要					実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。	5 引渡しまでの光熱 7 仮設間仕切り	・A種 ・B種:塗装仕上げ(・有・無) ・ C種:塗装仕上げ(・有・無)
1) 構造 RC造	章 項 目	特 記 事 項	ിത	工事実績情報システム	※受注者は、次表に従い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。	○削除	・本引込みより引渡しまでの使用料金 ※ 受注者負担 ・ 別途
	① 適用基準等	О∴公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修(令和元年版)		(CORINS)への登録	■ 登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に		
2) 面積 建築面積		●建築基準法、消防法、その他関係法令			登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。	1 衛生陶器附属品	・ 和風便器は埋込型とし、コンクリート接触面は緩衝材塗装加工とする。
延べ面積		●建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修			請負金額 エ事受注時 登録内容の変更時 エ事完成時		・図示陶器品番 JIS記号 ・図示陶器品番 TOTO記号 (何等品以上)
						2 大便器	・ フラッシュバルブ ・ ロータンク
概要		●建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達			500万円以上 契約後10日以内 変更契約後10日以内 工事完成後10日以内	_ 3 小便器	・フラッシュバルブ ・自動洗浄 (個別・焦電)・
	② 監理 (主任)	受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事			変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う(請負代金のみ変更の場合、登録不要) 日本の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	『 4 大便器洗浄弁	バキュームブレーカー付
	技術者	名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。			※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。	5 洗浄用タンク	・陶器製 ・防露形陶器製 ・合成補脂製 ・防露形合成樹脂製
	3 電気保安技術者	・適用する。・適用しない			なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)	6 便座	・ 普通便座 (・蓋有り・蓋無し)・ 温水洗浄便座 ・ 暖房便座
	4 技能士	・適用する。・適用しない	- @	情報共有システム	本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有する 5	=	
		工事別 適用種別 工事別 適用種別			ことにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。	7 化粧棚	- 陶器製 · 金属製
		·配 管 配管施工 ·冷凍機,空調機 冷凍空気調和機器施工			本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、	8 化粧鏡	· 一般鏡 · 耐食鏡 · 盗難防止形
3) 附属施設		·保 温 熱絶縁施工 ·風道、換気 建築板金施工			当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。	♀ 9 和風便器耐火カバ	- ・ 設ける (ピットな除く) ・ 設けない
	(5) 施工管理	L			運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)」	10 手洗器	止水栓付
8 消防法令に基づく防火対象物 消防法施行令別表ー (5) 項 ロ		※施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)			及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。	11 洗面器	止水栓杆
						12 紙巻器	愛工時ペーパーを設置する 。
9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 ()		技術者台帳(施工体制台帳に添付)			・発注者指定型	1 .	(・ ワンタッチ式 ・ ワンハンドカット式)
※ 本工事の工期には、工事検査期間として14日を含んでいる。		監理技術者・主任技術者 (下請を含む) 及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所	般		共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。	13 水栓	・ 台所流し用水栓は、泡沫式とする。
※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出するものとする。		属会社名を記載する。			受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに		竣工時水セッケンを補充する。
※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。		※施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。)			当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで	(水セッケン共)	- 陶器付形 - 壁付形
II 工事種目 (〇印のついたものを適用する。)	⑥ 機器材料等	工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。			本システムを利用しないことができる。	セッケン受け	- 埋込形 - 壁付形
工 事 種 目 工 事 種 目		指定以外の機材を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。			● 受注者希望型(契約時の請負金額が500万円以上のものに限る)		生だが、主じが
	-	また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によっ			工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。	(屋内)	
① 給排水衛生設備工事 2. 空気調和設備工事		て所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書			本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員に	① 給水方式	直結直圧式 ・ 直結増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
1 衛生器具設備工事 1 空気調和設備工事		の写しを監督員に提出する。(標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる			その旨を申し出て、本システムを利用するものとする。	2 管	 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
② 給水設備工事 2 換気設備工事		 資料の提出を省略することができる。)	共		その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に		内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(JWWA K 116) SGP-VD
3 排水設備工事 3 排煙設備工事		形状、寸法等が設計書と異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。			見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。		・水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (・HIVP・VP)
4 給湯設備工事 4 自動制御設備工事	AD.	工事に使用する機器および材料は、アスペストを含有しないものとする。	15	測定表	下記項目の測定を行ない監督員に提出する (部)		・架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、 JIS K 6787)
5 消火股備工事	¹⁰²	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号。「グリーン	'"	M K X	・温度 ・湿度 ・風量 ・騒音 ・振動 ・気流 ・塵埃		・ポリブテン管 (JIS K 6778、 JIS K 6792)
6 厨房機器設備工事		購入法」という。)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。			・飲料水(雑用水)の水質 ・浄化槽の放流水質 ・化学物質の濃度		・ポリエチレン管 (JIS K 6762、JWWA K 144)
7 ガス設備工事		材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。			測定箇所等は、監督員の指示による。		一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3 4 4 8) SUS 3 0 4
8 浄化槽設備工事	発生材の処理	・引渡しを要するもの()	16	説明板	監督員と協議の上、設備機器類(ポイラー、冷凍機、ポンプ、空気調和機等)及び一連の	3 #	- JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
77 IC 16 DX IN 2 TP	# # # #	・ 現場において再利用を図るもの ()	"	אור ניפי ועם	装置等の取扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に取付ける。		- JIS 5 K (高置水槽以降の配管に使用)
	~		通	m 40 45		4 71 + 2 - 71 - 22 - 2	
		※ 再資源化を図るもの	17	電線類	特記なき場合は、EM電線・ケーブルとする。	4 フレキシブルジョイ	
		・ アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木材	18	機器附属の制御盤	標準仕様書によるほか下記による。	5 伸縮管継手	・ベローズ形単式 ・ベローズ形複式
Ⅲ 設備概要 (○印のついたものを適用する。)		・ コンクリート及び鉄からなる建設資材			・運転ブロック図に適合するものとする。	6 高置水槽	・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製
給 水 方 式 ⊙ 直結直圧式 ・ 直結増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式		※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法			・ ボイラー及び冷温水機等の附属盤の始動スイッチニ次側に煤煙濃度計用の電源端子を 糸	1	- 鋼板製 (・ パネル形・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接・ ボルト)
排水方式・自然流下・ポンプ排水 (・汚物・水・雑排水)	通	律」(以下「建設リサイクル法」という。)、「資源の有効な利用の促進に関する法律」			設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による	7 受水槽	・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製
給 汚 水 · 直放流下水管 · 浄化槽		(以下、「資源有効利用促進法」という。)、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」			インバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による		・ 鋼板製 (・ パネル形・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接・ ボルト)
按 游		(以下、「廃棄物処理法」という。) その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処	19	防振継手	・ 合成ゴム製 (球形)・ ベローズ形	8 鋼板製水槽の防錆	・ エポキシ樹脂コーティング ・ 亜鉛アルミニウム及びその合金溶射
方式 (・局所式 ・中央式)		理推進要綱に従い適正に処理する。	争 20	埋設表示	標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(舗装部分は ・ 鉄製 ・ コンクリート製)	9 揚水及び加圧給水ホ	ンプ ・ φ × /min × m × kW × 台
水 給 湯 設 傭 別式 ・電気 ・都市ガス ・液化石油ガス ・灯油 ・ A 重油)		※ 建設副産物情報交換システム(COBRIS) (財)日本建設情報総合センター			排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。	(10 ポンプ基礎	・標準 型 ・防振 型
	事	本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の	21	はつり工事	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。		
- 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー		変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。			· 放射線透過検査等 · 必要 · 不要	(屋外)	
· 粉末消火 · 海納用水 · 泡消火 · 連結散水 · 消火器		また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により	0	補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならい補修する。	11 管	- 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
設 ・ フード等相簡易自動消火 ・ 二酸化炭素消火 ・ 不活性ガス消火		計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。	23	支持金物・固定金具	ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS304)		 内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(JWWA K 116) SGP-VD
		施工計画時 工事完了時			とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製 (SUS304)		 ・水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (・HIVP・VP) (図示50A未満)
ガ ス 設 備 ・ 都市ガス 種別13A(45MJ/N) ・ 液化石油ガス	₁₆	搬入 再生资源利用計画書 再生资源利用実施書	_		又は溶融亜鉛めっき仕上げとする。	ž	・ポリエチレン管 (JIS K 6 7 6 2 、 JWWA K 1 4 4)(図示50A未満)
净 化 槽 · 小規模合併処理 · 合併処理	^	搬出 再生資源利用促進計画書 再生資源利用促進実施書	填 24	耐震施工	股備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8年版・建設大臣		- 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)
・ 空気調和(・中央ダクト方式 ・各階ユニット方式 ・パッケージ方式			'		官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版・一般財団		・ ポリプテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)
空気調和方式等 ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ・)							・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
		ついては、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。		/B :B ++	法人日本建築センター発行)による。耐震クラスは()とする。	10 4	100 100 /mil William Adult 7 20 Abr. 14 mg
・ 鋼製ポイラー・ 鋳鉄製ポイラー・ 温水発生機 ・ チリングユニット		なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。	19	保温材	標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。	12 f	- JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
気 ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 適心冷凍機 ・ スクリュー冷凍機	⑧ 工事及び完成写真	建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第2版) -建築設備編-」による			イ) ポリスチレンフォーム 一給水配管、排水配管の多湿場所	"	- JIS 5 K (高架水槽以降の配管に使用)
調 ・ 吸収冷凍機 ・ 直だき吸収冷温水機 ・ 小形吸収冷温水機ユニット		ほか特記がない場合は、以下による。			ロ) グラスウール ーーー・給水配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等	13 弁桝	・市規格品 VC形 ・市販品
主要熱源機器 ・ コージェネレーション装置 ・ 氷蓄熱ユニット		分類 規格 撮影枚数 提出部数			ハ) ロックウール ーーー 排気ダクト、排煙ダクト	14 量水器	・買入・借用
・ パッケージ形空気調和機 ・ ガスエンジン式パッケージ形空気調和機		着手前 上版程度(カラー) 必要に応じた数 1	26	鋼管類の地中埋設	ペトロラタム系防食テープ (1/2重ね、1回巻き) +プラスチックテープ (1/2重ね、1回巻き)	15 量水器桝	・ 水道局規格形 ・ MC形
		工事中 上版程度(カラー) 必要に応じた数 1			ブチルゴム系絶縁テープ (1/2重ね、2回巻)	16 埋設深さ	 300mm以上(車両道路以外)・600mm以上(車両道路)・凍結深度(400mm)以上
備 換 気 設 嫌 · 1種換気 · 2種換気 · 3種換気 · 全熱交換器		各 室 4 面 1 完成時 上版程度(カラー) 1			熱収縮材	17 建物導入部配管	・標準図による。
接 煙 設 備 ・ 機械排煙(・有り・無し) ・ 適用法則(・建基法 ・消防法)		外 景 4 面	27	鋼管類の地中埋設	防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ (JIS Z 1901⑦ 0.4m/m) 1/2重ね、2回巻		・変位を吸収できるようにスリークッションとする。
自動制御設備 ・ 自動制御方式(・電気式・電子式・デジタル式)・ 中央監視制御装置		建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を		(コンクリート内等)		18 隔測メーター	・ リモート型 ・ 流量計 台
		監督員に提出する。	28	塗装	標準仕様書及び図示による。	19 その他	鋼管の接合は管端コア付継手等を使用する。
Ⅳ 機械設備工事仕様			29	スリーブ	外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を		給水管の最小管径は、原則として呼び径20とする。
1 共通仕様		・原版等の提出 ・する(・完成時のみ ・全て) ・しない			要しない部分のスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管(VU)とする。		水圧試験は配管途中、隠ぺい埋戻し前又は配管完了後の被覆施工前に、監督員立会いの上、
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書		・提出の方法及び形式は、監督員の指示による。			(柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、		規定の水圧試験を行う。
(機械設備工事編)令和 4年版(以下「標準仕様書」という。)、同営繕部設備・環境課監修公共建築設備工事	③ 完成時の提出図書	速やかに次の図書を提出する。			紙製仮枠としてもよい。)		・ 配管工事中に管内に異物の混入なきよう充分に注意し、工事完成前に監督員立会いの上、
標準図(機械設備工事編)令和 4年版(以下「標準図」という。)及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備		竣工図(・A3版2つ折りにして製本) 部	30	機器性能	図面に記載されている数値以上とする。		水質検査をして結果を報告する。
工事編)令和 4年版による。		② 完成図 ・ 施工図	31	電気容量	ル 以下とする。		・ 飲料水以外の給水管は、誤接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、
建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(建築工事編)及び公共建築工事		・ 成本図 ・ 応本図 ・ 応本図 ・ 保全に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)	20	电双容量 防火区画の貫通処理	"以下とする。 防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。		
標準仕様書(電気設備工事編)による。			32				系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。
(1)官庁手続き		 ・ 竣工図電子データ(施工図含む)ー式 (「竣工図電子データ作成要領」による。) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	33	溶接配管の検査	・ガス配管 ・蒸気配管 ・冷温水配管 ・冷却水配管 ・油管		1
受注者は各関係官公署への必要な手続きを連やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを	10 00 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	● CADデータ(媒体(CDーRなど)、データ形式等は監督員の指示による)			非破壊検査の適用 ※ 無し		引野町高屋市営住宅14号棟他隔測水道メーター改修工事 W 1
代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。関係官公署手続きは監督員の承諾後とする。)	10 関連工事等の調整等	施工範囲「工事区分表」による。			・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)		1
(2) 地元企業及び地場製品の活用		※契約書に基づく関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員			判定基準()		機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 No. 1
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。		の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。			技取率は・標準仕様書による		2025年 10月
							福山市建設局建築部設備課

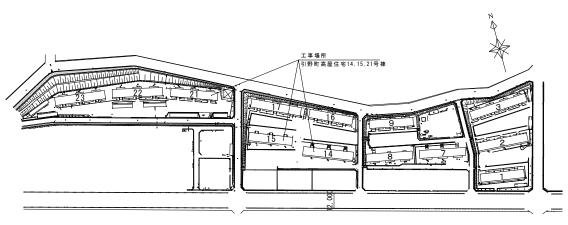


工事場所 (福山市引野町高屋住宅)

器 機 表					
品名	仕 様	高屋住宅 14号棟	高屋住宅 15号棟	高屋住宅 21号棟	数量合計
機械式水道メーター	DND 20(愛知時計電機㈱同等品以上)	2 4	2 4	3 0	7 8
カウンター(受信機)	RM09-122A(愛知時計電機㈱同等品以上)	2 4	2 4	3 0	7 8
メーター保温カバー	水道メーター保温用発砲スチロール	2 4	2 4	3 0	7 8
※検針満了月は2026年1月で	इं इ				



平面図(14号棟) S=1/100





特	詬	事	項
		_	

・品質・規格その他

納入するメーターは、以下の法令、その他関連する関係法規及び適用規格等による。

1)計量法関係

① 計量法 (平成 4 年法律第 5 1 号(改正平成 1 5 年 6 月 1 1 日))

②計量法施行令(平成5年政令第329号)

③計量法施行規則(平成 5 年通商産業省令 6 9 号)

④特定計量器検定検査規則(平成5年通商産業省令第70号(改正平成17年3月30日))

⑤指定製造事業者の指定等に関する省令 (平成5年通商産業省令第77号)

2) 水道法関係

①水道法施行令(昭和32年政令第336号)

②水道法 (昭和32年法律第177号)

③水道法施行規則(昭和32年厚生省令第45号)

④給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(平成9年厚生省令第14号) 3) 日本工業規格及びその引用規格(最新版を引用する。)

① JIS B8570-1 水道メーター及び温水メーター第 1 部:一般仕様

4) その他関連する法令等

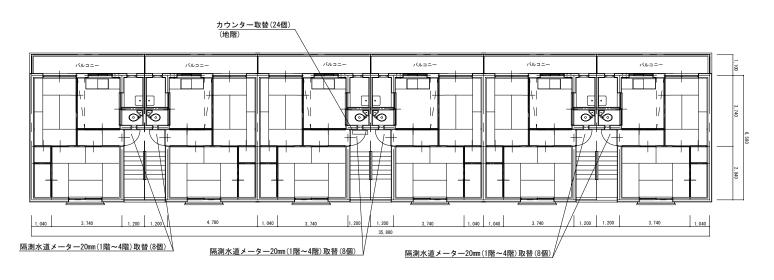
品名:機械式水道メーター 既設品と互換性があるようにすること。

・メーター1個につきメーター接続用ユニオンパッキン2枚を取替る。

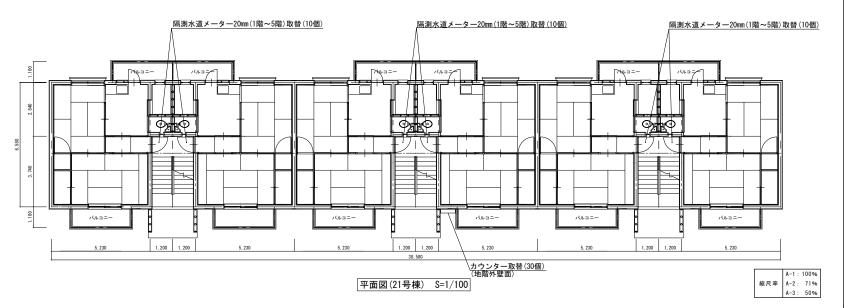
材質は合成ゴム (NBR) とし、JIS K6353「水道用ゴム亚類 硬度 (HS) 80」相当とする。

・取替後メーカーによる試運転調整をし、正常に動いている事を確認する事

・取替の作業日は事前に上下水道局と協議する。 ・上下水道局との協議にもとづき、事前に各室への断水等の案内をした上で施工する。 ・報告書の提出等、上下水道局に対し適切な手続きを行う。



平面図(15号棟) S=1/100



工 事 名 引野町高屋市営住宅14号棟他隔測水道メーター改修工事 福山市建設局建築部設備課 附近見取図・配置図 縮尺 1/100 —— 図面名称 2025年10 平面図(14・15・21号棟)

参考数量書

§工事名称 引野町高屋市営住宅14号棟他隔測水道メーター改修工事

§ 工事場所 福山市引野町北四丁目地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく 参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。
 - ※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)
 - ※ 「公共建築設備数量積算基準·同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 引野町高屋市営住宅14号棟他隔測水道メーター改修工事

工事場所 福山市引野町北四丁目地内

【工事概要】 ·給水設備工事 ~ 一式 工事費内訳

1

名称	数	量	単位	金額	備	考
直接工事費						
直接工事費		1				
		1	式			
∄ -						
共通費						
共通仮設費						
		1	式			
現場管理費						
		1	式			
一般管理費等						
		1	式			
≅ †			1/4			
工事価格						
		1				
消費税等相当額			式			
		1			消費税率 10 %	
工事費			式			
		1				
			式			

工事種別内訳

2

						T	
名称	数	量	単位	金	額	備	考
直接工事費		1					
計			式				

名称	数	量	単位	金	額	備	考
機械設備工事		1					
計			式				
п							

名 株 枝 盤 単位 全 額 備 考 所含 表	機械設備工事								
1 式		称	数	量	単位	金	額	備	考
式	給水設備			1					
				1	式				
	計 -								

機械設備工事										
科目名称		目 名 称	数量	単位	金額	備考				
給水設備	給水設備		1							
			1	式						
計										

機械設備工事			給水設備	Î			給水設備				
名 称	摘	要	数	量	単位	単 価	金	額	備	考	
■14号棟											
機械式隔測水道片	- DND20										
9-	DND20			24							
					個						
カウンター	RM09-122A										
				24	/ma						
保温カバー	発泡スチロール製				個						
p/c min./v	20A用			24							
					個						
隔測水道メーター	機械式			0.4							
設置費	20A			24	個						
隔測水道メーター	機械式				lb=1						
撤去費	20A			24							
					個						
■15号棟											
機械式隔測水道片	- DND20										
ター				24							
A. day . He	RM09-122A				個						
カウンター	RM09-122A			24							
				21	個						
保温カバー	発泡スチロール製									-	
	20A用			24	/m						
隔測水道メーター	機械式				個						
設置費	20A			24							
					個						
隔測水道メーター	機械式			0.4							
撤去費	20A			24	個						
■21号棟											
₩₩₩₩₩₩ 1. ₩,	DVDOO										
機械式隔測水道メ ター	— DND20			30							
,					個						
カウンター	RM09-122A									-	
				30	/m						
保温カバー	発泡スチロール製				個						
r * 1400a/*	20A用			30							
					個						
隔測水道メーター	機械式			0.0							
設置費	20A			30	個						
隔測水道メーター	機械式				liet.						
撤去費	20A			30							
عا					個						
計											